

パック・エックス主催「アミューズメントサミット」

新卒採用に取り組み7社が出展 集まった学生約35名にアピール

パチンコホールへの採用支援最大手のパック・エックス（東京・港区／井手誠三代表取締役）主催の「アミューズメントサミット」が2月5日、都内の南青山で行われ、7社のパチンコホール企業がブースを出展、2019年3月卒業予定の学生約35名が集まった。



出展企業のブースに向かう前に行われた学生対象就活セミナーの光景。面接時のポイントやパチンコ業界の魅力が伝えられた。

このアミューズメントサミットはパック・エックスが毎年開催しているパチンコホール企業対象の新卒採用支援イベント。約35名の学生が集まった今回は新卒採用に積極的に取り組む7社がブースを出展した。7社はコンチェルト、ウエスタンコーポレーション、マタハリ、ジョイパック、五月女総合プロダクト、ベガスベガス、



7班にわかれた学生グループが25分交代で出展企業を1社ずつまわった（新青山ビル西館15階）。

メッセ——。この就活イベントはアミューズメント業界の企業限定イベントであると謳って学生を集客しパチンコ業界の魅力や、働くうえでの楽しさを企業ブースに向かう前に事前に伝える。一般の就活イベントとの大きな違いであり、出展企業は自社の強みに集中して説明できるメリットがある。



出展企業からは、一般的な就活イベントと違い、パチンコに興味を持ってくれる学生が多いことが評価されている。

チンコ産業の市場規模やホールスタッフの平均年収に関する説明を受けたのちに、出展ブースに向かい、7班にわかれた学生グループが25分交代で出展企業を1社ずつまわった。

面接セミナーを担当したパック・エックスの阿部美沙子氏は入社後に活躍しているイメージを持つ学生を企業側はほしがると、そのイメージを重ねるポイントとして、

①自分自身の強み弱み、行動特性

を理解していること、②志望動機がはっきりしていることなど、面接時のポイントを説明した。またパチンコ市場規模やパチンコ業界の魅力に関する説明にあたった同社の須永将大氏はパチンコホールでの実際の働き方であったり、実力次第でキャリアアップが望めるメリット等を説明した。

（出展企業のジョイパック（茨城）人事部の内田係長は、売り手市場で推移する新卒採用戦線を背景に新卒採用が年々難しくなっているとしながらも、「一般的な就活イベントと違い、このアミューズメントサミットにはパチンコ業界に興味ある学生が他のイベントと比べ多いことにメリットがある」と語った。

またメッセ（東京）営業本部 財開発課の横田主任は、幹部候補生の確保が目的だったと説明した上で、「業界に興味を持ってくれる学生が多い印象だった」と手応えを口にした。

毎年平均5〜8名の新卒を採用しているというクレディセゾングループのコンチェルト（東京）営業本部人事課の坂井氏は、「思った以上に反応が良く、8割の学生からインターンシップへの参加意向が示された」と声を弾ませた。